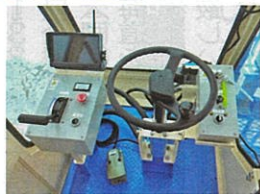


⑥漁船をつり上げて⑦そのまま保管場所まで自走する



常呂漁港



ジョイスティックの操作室

また、走行の操作をアクセルペダルからジョイスティックに改良。立ち操作が可能で周囲の安全を確認しやすい、「全体的に作業性が向上し、従来に比べ少人数で上下架作業がで

新上下架施設が稼動

自走式性能改良

動作速度、作業効率を向上

常呂漁協が建造を進めていた常呂漁港の新上下架施設が完成、昨年末の上架作業から本格的に供用を開始した。クレーン式で漁船をつり上げてそのまま移動し、保管場所や港内に降ろすことができる自走式。旧施設より動作速度や操作性などを改良し、省人で安全、効率的に作業を行うことができる体制を整備した。

2002年に建造した旧施設の老朽化に伴う更新。陸揚げ後、保管場所までの漁船の搬送に当たって台車に載せ替える作業が不要で、下架の際には順番に制約がなく、任意にできる自走式を継続採用した。

クレーン能力は68ト（定格荷重）。上架時は海中に沈めたスリングベルトに船体を進入させ、ベルトに挟み込んでつり上げ。抱きかかえたまま保管場所に自走で搬送する。

旧施設と同規模の全長15・2メートル、全幅10・5メートル（フレームスパン）、全高11・8メートル、4輪（タイヤ8本）を装備。フレーム主部材は亜鉛めっきの三層塗装で旧施設より耐食性、防錆性を高めた。

スリングベルトの巻き上げ・巻き下げ速度は旧施設の毎分3回転から同4回転に、自走の走行速度も毎分15回転から同30回転に高速化。利用隻数はホタテけた引船、定置網船、底建網船など80隻で、同漁協は「作業スピードがアップし、作業時間が短縮された」と説明する。

「きるようになった」と話

23年7月に着工。事業費約4億8千万円。国の水産競争力強化緊急施設整備事業で2分の1と北見市から一部補助を受けた。

設計

ぎょれんマリノサポート株式会社

代表取締役社長 中村 哲也

札幌市中央区北3条西7丁目1番地

TEL011-261-0884 FAX011-261-1045

祝 常呂漁業協同組合 自走式上下架施設 竣工



ナラサキ産業株式会社

北海道支社

執行役員北海道支社長 小松 誠一

札幌市中央区大通西7-3-1 エムズ大通りビル2階

TEL011-271-5221 FAX011-231-5173

URL <https://www.narasaki.co.jp/>



株式会社 桧崎製作所

代表取締役社長執行役員 梶 宏人

北海道室蘭市崎守町385

TEL0143-59-3611 FAX0143-59-4688

URL <https://www.narasaki-ss.co.jp/>

